

令和元年度 自己点検・学校評価報告書

令和元年度の自己点検・評価について、本学院は教育機関としての社会的責任と情報公開の重要性を重視し、学校評価の一環として、ここに記します。

令和2年6月2日

医療法人高寿会 近畿リハビリテーション学院

評価項目

- I 教育理念・目標・方針
- II 学校運営
- III 教育活動
- IV 学修成果
- V 学生支援
- VI 教育環境
- VII 学生の募集と受け入れ
- VIII 財務
- IX 法令等の遵守
- X 社会貢献・地域貢献

評価項目	指標	自己評価	学校関係者評価
I 教育理念・目標・方針	教育理念・目標が明文化され、公表されているか 理念の達成に向けた教育方針への取り組み	本学院は専門職として保健・医療・福祉領域における社会的責任が全う出来るよう、教育理念に則り、単科の有利性を活かして質の高い理学療法士の育成を目指している。 教育理念は本院ホームページやパンフレットにて明文、公表し、周知に努めている。	学校の教育理念・目標・理学療法士を養成する基本方針は明確であり、それらは学校のホームページ、パンフレット、学生便覧等において記載されているが、更なる周知をして行く必要はある。
II 学校運営	理念に則った運営方針が示されているか	教育理念、目標、現在の社会情勢を踏まえ、職員会議を実施して職員で周知している。	教育理念に則った運営方針を示す為の運営組織や意思決定機能は明確にされている。
III 教育活動	理念・目標に沿った教育目標が設定されているか 成績評価を明確にし、適切な指導を行っているか 教員の質向上に向けての体制を整備しているか 臨床実習の適切な実施と支援体制を整備しているか	本校教育理念を遵守した教育を行っている。成績評価は学生便覧に記載し、学生に配布をして周知に努めている。 教員研修は昨年度より外部団体主催の研修会への参加を積極的に行っている。今後は、現在試験的に実施をしている教員評価を本格的に実施し、教育力の向上に取り組む。 臨床実習においては授業等の進み具合を考慮し、学生が効果的に学習できるように実施している。実習中にも学生訪問を行い、実習の進捗状況について直接学生と面談、支援を行っている。	各年次における教育目標が設定され、シラバスにおいては到達目標等が明確に示されている。成績評価の方法は、学生便覧に明文化されている。 研修会に参加した教員は、職員会議等を通じて他の教員に知識・技能を共有する場がある。また、各教員の個別面談を通して、各教員の教育指導の取り組みや目標等の話し合いが行われている。 臨床実習の実施は適切に行われている。支援体制については整備されてはいるが、今後、適宜見直しや柔軟な対応が必要である。
IV 学修成果	卒業生の就職率	理学療法士としての資格を取得した学生についての就職率は100%である。	学校主催の就職説明会の実施や、学校宛ての多数の求人票の紹介により、それらが就職

			率に反映されている。
V 学生支援	退学率の低減対策 学生の学習面、経済面、 健康面での支援体制を整 備しているか	少人数での学生支援制度であるチューター 制度や、早期からの個別対応による学習支援 を実施し、教員と学生で距離の近い関係作り を行っている。退学を希望する学生について も面談を重ね、不安や問題点の改善に努める ことで低減対策を行っている。	チューター制度や個別面談を活用した学習 等の支援が行われている。 しかし、退学率の低減効果が十分に得られ ていないと見受けられるので、今後、学校生活 における学生の不安や問題点の解消に向け て、不安や問題点が出て来る早期の段階での 対応が必要と考える。また、教育指導や環境の 見直し、改善が必要である。
VI 教育環境	教育に対応した設備の点 検・整備を行っているか	機械器具教材の整備・点検について、全ての 器具に実施出来ていない状況であるが、現在 順番に点検を行っている。	教育設備は、理学療法士養成施設の関係法 令に定められた基準に基づいて整備されてい るが、開校から年数が経過している設備につ いては、特に保守が必要である。
VII 学生の募集 と受け入れ	適切な広報活動の実施 選考基準を明確にし、適 切に実施しているか	各種進学サイトや学校サイト、パンフレッ トで教育理念および教育目標の周知を行って いる。また、オープンキャンパスを積極的に開 催し、本校に直接足を運んだ上で特色や魅力 を伝える活動を行っている。	学校情報の周知はホームページや進学情報 サイト、パンフレットを通じてされており、選 考基準も明文化されている。 広報には様々な情報がある為、それらの全 てについて、適切な表現とタイミングで周知 することが必要である。
VIII 財務	財務基盤の中長期的な安 定性は保たれているか	現在は概ね安定しているが、今後も引き続 き入学者数の定員確保が必要である。	財務の安定性を確保する為には、入学者の 定員確保と退学者の低減が必須であり、今後 の課題である。
IX 法令等の遵	法令、専修学校設置基準	法令等を遵守した学校運営に努めている。	法令や設置基準等に基づき、大阪府私学課

守	等を遵守し、適正な学校運営が行われているか		へ基礎資料調査、大阪府保健医療企画課へ定期報告書を毎年提出しており、適正な運営がなされている。
X 社会貢献・地域貢献	積極的な社会貢献・地域貢献活動を行っているか	令和 2 年度より、地域の美化活動への協力を行っていく。	<p>まずは理学療法士養成の学校として、理学療法士の人材を毎年きちんと輩出することで社会貢献の一環を担っている。</p> <p>地域貢献活動としては、地元の自治会への協力がなされている。</p>